

記事を読んで、問いに答えなさい。

2020年 8月10日 朝刊



高橋長秀  
客員准教授

## ADHDの眠気 遺伝子影響か

浜松医大グループが研究

浜松医科大子どもの  
ころの発達研究セン  
ター（浜松市東区）の  
高橋長秀客員准教授や  
土屋賢治特任教授らの  
研究グループが19日ま  
でに、ナルコレプシー  
と呼ばれる睡眠障害と  
発達障害の一つである  
注意欠如多動症（AD  
HD）の特性が遺伝的  
に関連していることを  
明らかにした。ADHD  
を有する人が日中に  
感じることも多い眠気  
は、体質として遺伝子  
の影響である可能性が  
高いことが示された。  
研究結果は米国の精神  
医学誌で発表した。  
研究は、同センター  
ADHDは、じつとす

が出生から追跡研究を  
している8〜9歳の7  
26人を対象に約65  
0万カ所の遺伝子変化  
を解析し、睡眠障害と  
関連する遺伝子変化の  
度合いを表す「ポリジ  
エニックリスクスコ  
ア」を計算した。同ス  
コアが高いと、多動性  
・衝動性症状や不注意  
症状を測定する尺度の  
点数も高くなる傾向が  
示された。神経伝達物  
質「ドーパミン」に関  
与する遺伝子変化が、  
睡眠障害とADHDに  
共通していることも分  
かった。  
同センターによると  
ADHDは、じつとす  
るのが苦手な多動性・  
衝動性症状や集中力の  
持続が難しい不注意症  
状が特徴で、18歳以下  
の約5%、成人の約2  
・5%に見られる。A  
DHDを有する人が思  
春期前後から日中に強  
く生じやすい眠気は、  
不規則な生活習慣や睡  
眠不足が原因だとし  
て、学校や職場などで  
「怠けている」と誤解  
されるケースが多いと  
いう。  
高橋客員准教授は  
「ADHDを有する人  
の支援に携わる家族や  
教員、同僚などが眠気  
を体質だと理解し、よ  
り良い支援につなげて  
ほしい」と話す。  
（浜松総局・佐野由香利）

※解答欄が足りない場合は裏面に記すこと。

①ADHDを有する人への支援として、己の進路希望先視点による具体策を提言せよ。

( )

②ドーパミンに作用する薬は「麻薬及び向精神薬取締法」によって厳しく管理されている。同法成立に至った経緯を調べ、法学、薬学或いは医学の見地から考えると述べてよ。

( )

③子どものころの問題の原因と対策を総合的視点に立って明らかにしようとする場合、ある特定の期間に出生した集団を追跡するような研究[Birth Cohort Study]が必要と推測される。今後、日本ではどのようなBirth Cohort Studyを実施すれば効果的と考えるか、現実的ではなくても良いので考えるところを自由に述べよ。但し、具体的方法と予想される効果に言及すること。

( )

年 組 名前

作問者：NIEアドバイザー 実石克巳（静岡高校 教諭）

（高校／国語）

<参考>①＝福祉学、特別支援教育学、医学、その他に関する問題、②＝法学、薬学、医学に関する問題、③＝医学、心理学、統計学、行政学に関する問題